

 いわみざわ公園バラ園 [www.iwamizawa-park.com](http://www.iwamizawa-park.com)

## イングリッシュローズの魅力

満開のバラがお庭の中で「私を観て」と語りかける7月は、北国ガーデンがもっとも華やかな季節です。宿根草などと混植しているバラは、しなやかな枝振りと香り高く華やかで気品のある品種です。少し花首を下げて、恥ずかしそうな咲き具合。作出国イギリスでデビッド・オースチン作出のバラがイングリッシュローズです。今から30年前に出逢ってから、その魅力に魅せられていまなお新品種にときめくのです。バラ園内は旧緑のセンターの裏手に希少品種の株が植栽されていて、香りを楽しむことができます。(たかはし)

## 家庭菜園の

育成温度が最適になってきましたね。比較的低温でも育つ、えんどう豆、苺や葉物野菜は、収穫最盛期となっていますが、茄子、胡瓜、とまと等やっと受粉を終えて実が付き出している頃です。そこで要注意なのは、脇芽がそのまま伸びていると、根から吸収した栄養分が分散され、美味しいものが出来ませんので取り除きましょう。更に忘れてはいけないのは、苗が小さい時紐などで添え木に縛ったままになっていると、これから幹がドンドン太ってきますので、少し緩めに縛り直しましょう。(ながやす)

## ナスタチューム

園芸好きで、かつ食べることもお好きな皆様には、これからの季節、ナスタチュームがオススメです。クリーム、オレンジ、赤、黒と花色も豊富な花はもちろん、葉も若いタネも食べられます。辛味と酸味があり、夏野菜のサラダに入れると華やかで味にも深みができます。また独特の香りはアブラムシが嫌うとも言われています。枝がグダグダに伸びてきたら、切り戻してください。切った枝は水に入れて置くと根が出てくるので、増やすこともできます。食べたい人はエディブル用の苗を買うか、自分で種まきしてください。農薬は使わないで育てましょう。(きのした)



## ツルリンドウ

ツルリンドウは40cmから1mになるつる性の多年草です。地面を這ったり他の植物に絡んだりして成長します。花は薄紫ですが花よりも実の付き方がおもしろく、筒状の花の中につやつやの赤い実ができ、熟すにつれ中の柄が伸びて花冠の外に飛び出します。また実の赤い色は林床でとてもよく目立つので割と見つけやすいと思います。いわみざわ公園では見晴台(展望台)までの遊歩道脇などで見られ花は7月下旬ころから咲きだします。(いとう)

## 花も団子も楽しむ季節

バラが見頃の季節がやってきました。それと同時にサクランボやイチゴそしてジューンベリー、ハスカップが収穫されます。私たちに「花」と「団子」(実)と両方を手にする季節でもあります。ところで同じ「団子」でも自然界に生きている木々などの実は、子孫繁栄のために成らせるのであり、当たり前ですが私たちのためではないということです。その仕組みは巧みで、動物に食べさせて種を拡散させる、一斉に熟しないようにして気候的なリスクを減らしたり、出来るだけ多くの動物に運ばせる。そのために実を大量に摂取すると、含まれる特殊な物質が体内に蓄積され、もう食べたくないと感じさせる植物もあります。この高度な仕組みはしたたかですね。だからこそ生き延びてきたのかもしれない。山奥に入り山菜を根絶やしに採り尽くす人々に聞かせたい話です。(かわはら)

## バラ園

今年は春先から気温が高くて、例年よりも開花が1週間ほど早かったのですが、それでもブレないのが遅咲き品種。植物って、しっかり準備をし、決まった季節に忘れずに開花するホントに真面目な生きものですが、気温の上昇にほだされない遅咲きのバラには特に感心します。満開を過ぎて遅咲き品種がまだ楽しめて、その間に一番花が終了した繰り返し咲き性の品種は二番花の花芽を上げます。たくさんの品種数がある当園の醍醐味ですね。開花品種が入れ替わりながら秋深くなるまでワチャワチャしています。



## 室内公園 色彩館



ブーゲンビリア Bougainvillea cv.  
オシロイバナ科ブーゲンビリア属  
原産地：中央アメリカ、南アメリカ  
別名：イカダカズラ（筏葛）

初夏から夏にかけて、南国植物温室でキレイにアーチを彩るのがブーゲンビリアです。学名はこの植物を発見したフランス人探検家の名に由来します。花弁に見えるカラフルな部分は苞で、中心部分が花です。北海道の屋外では難しいですが、鉢植えで育てることが可能です。日当たりを好むので、特に冬は日当たりの良い場所に置きましょう。水や肥料はあまり好まない植物で、あげすぎると花をつけません。当園でも、アーチの下に頻繁に灌水するコウモリランを提げていたのですが、それを移動し別居させたら、急にもりもりと咲くようになりました。

### 【知恵袋】動物や植物の名の表記。

#### カタカナ、ひらがな、漢字など その基準はあるの？

動植物名は、普通ひらがなか漢字で書きますが、動物や植物（含む野菜）を表す漢字が常用漢字表になればひらがなで書きます。学術的に表記する場合は、カタカナで書きます。（NHK 編新用字用語辞典より）

例えば動物名を書くときは、「虎・熊」などは、常用漢字表に表記されていないので「とら」「くま」となり、学術的には「トラ」「クマ」と表記します。植物では、「檜」「蘭」などは、常用漢字表に表記されていないので「ひのき」「らん」となり、よって薔薇も第二水準に属する字なので一般的に書くのは「ばら」で、学術的には「バラ」書くのが正しいようです。



ひとつき  
ひとバラ



文：田中 伸枝  
(いわみざわ公園バラ園)



## 第六十二回

ハイブリッド コルデシー ローズ

ケープ ダイヤモンド

Cape Diamond™

作出国：アメリカ

作出者：Bédard

作出年：2006年

ハーディネスゾーン：Z3

繰り返し咲き性

交配：Marie-Victorin × Louis Jolliet

7月はメインである整形形式ローズ ガーデンが花盛りとなりますが、そこで忘れてはいけませんがこの品種。整形形式山側の外周でライトグリーンの葉をモリモリと茂らせ、眩しいほどに咲くピンク色のバラがケープダイヤモンドです。ケープダイヤモンドとは本来黄色味を帯びたダイヤモンドのことを云い、南アフリカのダイヤモンド鉱床地域の名に由来します。直径 10cm ほどの大輪房咲きで、クシクシュッとしたミディアムピンクに黄色のしべがのぞく花容はその名のとおりダイヤモンドのようです。樹形はよく横張りになりとても豪快です。耐病性が強く、北海道でも問題無くローメンテで栽培できると思いますが、スペースを取るの小さいお庭の方は少し考えた方がよさそうです。耐寒性も強く、多少なりとも冷風などによる凍害には遭いますが、強剪定により元気な枝がぐんぐん出てきます。

交配は Agriculture Canada (以下 AC) の探検家の名を冠したエクスプローラーシリーズコレクションでハイブリッドコルデシー系統の Marie-Victorin と、同シリーズで同系統の Louis Jolliet ですが、作出はアメリカの Weeks です。コルデシーローズについては 2018年5月発行の‘ジョージバンクーバー’の回を参考にしてください。

(当園HPにバックナンバーを掲載してます)  
作出者は Tom Carruth 氏の後継者として現在 Weeks のリサーチディレクター・ライセンスマネージャーを務める Christian Bédard 氏です。Bédard 氏は、カナダモントリオール大でバラの体外培養や DNA や分子特性などの生物科学分野に関するなんらかとてもむずかし〜い研究をしていて、英語・フランス語・スペイン語が堪能でとても優秀な方です。Weeks に入社する前に AC で 4 年間勤務した経験から耐寒性のあるバラの知識も豊富で、AC のバラを好んで使用しているようです。Weeks のイメージやコンセプトも今後変わってゆくかもしれませんが。講演会・メディア出演・執筆活動も積極的に行いバラの栽培と文化の普及に大きく貢献しており、2017 年にはアメリカバラ協会 (ARS) のライジングスター賞を受賞しています。北海道でのバラ栽培をしている当園にとっても、期待の人ですね！

当園では修景バラとしての役割だけではなく、整形形式の寒さに弱いハイブリッドティーローズたちを山からの冷たいおろし風から守ってくれる役割としても植栽しています。整形形式の「バラらしい」バラたちも良いですが、元気な修景バラもぜひお楽しみください。

## 夏季 バラ園閉門時間のご案内

6/22 (土) ~ 7/21 (日) 9:00 ~ 19:00

7/22 (月) ~ 8/18 (日) 9:00 ~ 18:00

- ・花火大会開催日は17:00閉門
- ・その他 イベント等のため 上記時間外に開放の場合あり

※ 屋外トイレおよび旧緑のセンターは17:00に閉場します。  
お手洗いをご利用の場合は、室内公園 色彩館をご利用ください。

## 今月の市民園芸講座のご案内



- 7月7日(日)・15日(月祝) 10:00~12:00  
バラ管理スタッフのローズツアー  
料金：無料 定員：40名 講師：バラ園スタッフ
- 7月15日(月・祝) 13:00~15:00 盆栽作りの楽しさ  
料金：無料 定員：40名 講師：桑内彦さん 岩見沢樹石会会長
- 7月21日(日) 13:00~15:00 折り紙でバラをつくろう 初級  
料金：無料 定員：15名 講師：バラ園スタッフ
- 7月27日(土) 10:00~12:00  
ばらゼミ⑤秋バラを楽しむために！花後管理でより良いバラを！！  
料金：無料 定員：40名 講師：工藤敏博さん ローズグロワー
- 7月28日(日) 13:00~15:00 バラを虹色に染めてアレンジしよう！  
料金：300円 定員：40名 講師：森志郎さん 酪農学園大学
- 8月4日(日) 10:00~12:00 森と水辺の生き物を見てみよう！  
料金：無料 定員：40名 講師：長坂有さん 道総研 林業試験場